

ヨーガ・ヴァシスタ:究極の真実・聖者ヴァシスタの教え

プレマナンダジ講話①(2017/3/27)

丸岡汪行:記

究極の存在

・存在するものはすべて神であって、神以外のものはありません。究極の真理は変わらず、変化するのは世界と呼ばれています。究極の真理がありとあらゆるものの源です。名前あるもの、形あるものはすべて究極の真理から生まれ、維持され、またそこに戻っていきます。

・この世界は、行為者、その行為、対象物がすべてです。つまり見るもの、見ること、見られるもの、この3つの側面を持っています。3つを生み出すもの、またそこに戻ってゆくもの、究極の存在、究極の知恵、究極の真理、至福に敬意を表します。

・粗雑な存在の中で人間が一番上です。輪廻転生を繰り返し、最後には神の世界を実現します。死とは名前と形をいったん捨てて、また別の名前と形を持って生まれること、繰り返すことです。これを進化と呼びます。繰り返して転生して、ついに人生はマインドの遊戯であることに気づきます。

水蒸気は雨となって地上に降り注ぎ、川となって流れ、波となって海となります。名前と形を変えて移り変わっても水であることは変わりません。あなたも人間に見えていますが神です。ただ気づいていないだけです。

相対的な世界

・私たちは相対的な世界に生きています。日本人というときは、日本人以外を意識します。男と女、昼と夜、正と誤、人間と動物、私とあなた、白と黒。私たちは常に2つのものを対比して生活しています。つまり相対的な社会に生きているのです。

・なぜ“男”というのでしょうか？ 男と女が同じだったら“男”も“女”もありません。

彼は 10,000 円持っています。彼は金持ちですか？ この指は大きいですか、小さいですか？

——なぜ答えられないのでしょうか？ 一人(指1本)だから、比較の対象がないからわかりません。

・私たちは無意識のうちに素早くすべて比較しています。比較が習慣になっています。たった1つなら大きいも小さいもありません。

どうやって2つ目を持ってきますか？ 2つ目によって答えはどのようにでもなります。

つまり質問が間違えているからです。ですから答えはどのようにでもなるのです。間違いで始まったらあとはすべてが間違いです。

・比較する習慣からは容易に抜けられませんが、そこから抜け出るのが瞑想です。瞑想で思考を止めて神を感じます。神は1つしかないのです、すべての思考がなくなります。

互いに依存している世界

・私たちは、蜃気楼のように、無いものを在る、現実であると勘違いしています。湖に映った月を本当の月だと思っています。夢を見ているときは、夢が現実であると勘違いをしています。

夢を見る人がいなかったら夢もありません。

・あなたが存在するから、あなたの見ている世界があるのです。あなたがあなたの見ている世界を支えています。あなたが存在しなかったら、あなたの見ている世界も存在しません。

この世界は見ている存在に依存しています。見ているもの、すなわちそれは究極の存在です。

(補足:人里離れた森林で大木が倒れたのは事実か否か?:最先端の哲学のテーゼ)

・この世界は神が作りました。神がいなければこの世界はありません。神がいるからこの世界があります。そうでなければ皆さんもいません。

ウパディ(名前、タイトル、肩書、役割、着ぐるみ)

・あなたからあなたの名前を取ったら、何が残りますか？

人は生まれたときは赤ちゃんでした。それから子供になり学生になり、技師や医師や主婦や政治家になりました。私はスワミジと呼ばれています。これらはすべてその時々を表す呼び名・役割です。すべての名前と形は変化します。この変わっていく名前をすべてウパディといいます。私たちは、世界を名前と形で理解しています。赤ちゃん、子供、学生はいなくなって、医師がいます。形と名前は変わりますが、“私”は変わりません。名前と形ではない“私”が、変わらず存在しています。

・真実は1つ、“私”、変わらない存在、言葉で表現することもできません。ただ感じることしかできません。ハートの中だけで体験できる存在です。

無限にある目に見える世界、あなたが見ている私とは、私の変わり続けている今だけの体(名前と形)であって本当の私は見えない存在です。

・私が見えますか？ いいえ見えません！（あなたが見ているのは私の体であって私ではありません）

魂の進化

・魂の進化のプロセスがこの世界。着ぐるみを早く脱ぐ者、なかなか脱がない者がいます。

私たちがウパディを手放すと、技師でもなく、日本人でもなく、男でもなく、ただの人間です。人間もウパディですので、これも脱ぎ捨てましょう。何が残りますか？ “I” すなわち “私” が残ります。“私” って誰でしょう？ 純粹なる意識、宇宙意識、神です。

・あなたは誰ですか？ ○○さん？ それは違います。それはウパディです。あなたは神です。

私たちは、名前と形で考える習慣を身につけています。身につけた習慣を離れるのは難しいのですが、単純です。

そこから離れなさい。瞑想で名前と形から離れなさい。離れたところに残るものを感じ取りなさい。それは存在です。至福です。意識です。

原因と結果、行為と結果、作用と反作用

・種があつて木になる。木があつて種ができる。卵があつて雛が生まれる。鶏がいて卵が生まれる。これが原因と結果。鶏と卵、どっちが先ですか？

卵がなければ鶏もない。鶏がなければ卵もない。つまり私たち人間がどんな方向から考えても正解はない。どちらも正しくてどっちも間違い。これが私たちの世界。

・聖者ヴァシスタが答えをくれました。真実は、『同時に、両方が一緒に存在している』。

結果は原因に依存し、原因があるから結果もある。原因がなければ結果もない。では原因が先か？ 結果がないということは原因がないからです。どちらも単独では存在しません。つまり、2つのものは互いに依存しています。つまり同時に存在するのです。一對の存在です。単独では存在し得ないのです。

・ここに本があります。皆さんが見ているのは表紙ですね？ 私は裏表紙を見えています。皆さんは先に表紙を見ただけです。でも裏表紙も同時にあります。表と裏は切り離せず常に一緒にあります。

原因と結果、行為とその結果、作用と反作用。一對の切り離せない存在で、一緒に存在します。

・宇宙の始まりの前は“無”とすると、行為者もいなかった。だから行為の結果もない。つまりこの世は何もないはずです。

創造主と被創造物

- ・創造主と被創造物は同時に存在しているのです。
 - ・宇宙誕生の前から創造主は存在しました。原因があって結果があります。創造主の行為があって結果があるのです。作用があって反作用があるのです。すべて存在するものは活動して変化します（宇宙の始まりが“無”とすると反作用もないはずです）。
- 何が勘違いのもとでしょう？ 私たちの中でまず議論しましょう。

幽霊の争い

X君とY君という2人の幽霊が争っていました。大きな2本の角を持って戦いました。X君の角が折れましたが、そのときY君は殺されました。

さて皆さん、Y君の死亡を確認するためにはどんな医者と呼ばばいいでしょうか？

答えは何でもいいのです。元々は想像の世界の話なので、何と答えてもそれはそれでいいのです。意味はないのです。質問の意味がないのですから、答えも意味がありません。おばあさんが孫を寝かしつけるための作り話なのです。

質問の性質によって答えの性質が決まります。間違えた意味のない質問には、間違えた意味のない答えがくるのです。

間違い・誤解のもと

- ・人々は、目に見える世界の存在を信じていますが、それは真実ではありません。
- この世界があるという前提があって、それを前提にした質問がありますが、答えもこの世界があるという間違いを前提にした答えです。ですから答えも意味はありません。何とでも答えられます（元々作り話ですから）。
- リアルでない世界がリアルにあるという誤解にもとづいた質問には、この世があるという前提で答えます。だから答えも間違いなのです。微妙な論理の世界です。
- ・ 3×5 はいくつですか？15ですか？
(→私が8といったら？×の代わりに間違えて+と思い込んだら8になる)

間違いをリアルと思えば、そこから先は全部間違い

- ・「原因と結果どっちが先？」も間違いの世界。
- 原因と結果はもともと1つなのに間違っただけで2つと誤解している。間違っただけだから意味がありません。
- 鶏と卵、人間がどの角度からどう考えても正しい答えになりません。
- 本：表紙が先？裏表紙が先？同時に存在しています。表紙が先でもなく、裏表紙が先でもありません。
- 普通の答えられない質問にヴァシスタは答えています。創造主と被創造物も同時に存在しています。
- 母に「幽霊はどこから来た？」と子どもが聞いたら何と答えますか？何と答えてもいいし、何と答えてもそれは意味がありません。

世界の始まりがあったと間違っただけで、そのあとはすべて間違い

- ・熱と火は、どっちが先？原因と結果は同時にあって原因と結果は同じものですよ！
- 本の表も裏も同じもの。表があるから裏もある。
- レストランに来て、鶏と卵で2人が言い争いました。3人目が来て卵料理、鶏肉料理どっちでも先に注文したほうが先(笑)。これが答え。

・ギターでもクリシュナ神が言っています。『神様は何もしていないのに、原因と結果があるように見えるだけです』

真実に到達すればこの世界は見えなくなって、別の世界が開ける

・他にも多例：暗い森で見たライオン；ゴムの蛇；夢で見る恐怖など；間違いを事実と思い込んだら、恐怖やみじめさに満ちています。光（神）に照らされて真実がわかれば、恐怖やみじめさは何も作り出しません。

真理の知識は本当の幸せがわかり、すべての問題は解決します。

・ギターに、こう述べられています。『創造主がいろいろなものを作ったときに、原因と結果も作りました。すべての存在は行動します。行動すると結果が来ます』

どうやって、ここから抜け出すか？

・よい行いをしますか？ 悪い行いをしますか？

・何もしないことです。行為者（doer）にならないことです。

ヨガ教師は言います。『私は体ではない。私の体がやっているのであって私がやっているのではない』。

感覚器官は体であって、私ではありません。結果は体には来るが、私は doer（行為者）ではないから、私には結果は来ません。私は seer（見ている人）です。体がヤケドをしても私はヤケドをしない。

自分はだれか？ You are Absolute Truth（あなたは完全なる真実）

・自然界が行為をしているのであって、あなたがしているのではありません。あなたの体はしていますが、あなたではありません。微細な論理です。

火の性質がヤケドをさせます。自然の性質がすべてをやっています。

氷は何もしませんが、その性質があなたの手を冷たくしているのです。自然がすべてをやっていて、あなたは何もしていません。

・食べ物を歯が噛んで、喉が吸飲し、胃腸が消化吸収しているのです。それが体を作り、それが手足を動かしているのであって、あなたは何もしていません。あなたは、ただそれを見ているだけです。

あなたは知っているだけ、見ているだけの人であって、体や自然ではありません。これが分かれば苦しみはありません。

・深い眠りのときは、寒い夜に毛布がなくても、毛布がかかっているかどうかを、あなたは知りません。病気になればお医者さんが、睡眠薬を処方してくれます。痛みがあっても眠ってしまえばあなたは感じません。

・チダナンダジは、眼の手術を麻酔なしで行わせました。術後、お医者さんが聞きました。「痛くなかったのですか？」「体をお医者さんに任せて、私はここにいなかったのだから痛かったかどうか知りません」とお答えになりました。例は多々あります。この世界の痛みや問題から逃れる方法です。

・無知がいかに苦しみを作っているか！

暗闇という無知がライオンを作り、怖がる苦しみを作っていますが、稲妻（神）の光で真実を見れば、遺跡の石のライオンであることがわかり、何の恐怖もありません。痛みは避けられませんが、苦しみは誤解が原因で、自分で作っています。



ヨーガ・ヴァシスタ:究極の真実・聖者ヴァシスタの教え

プレマナンダジ講話②(2017/3/29)

丸岡汪行:記

私たちの人生

・私(プレマナンダジ)は長距離バスでデリーに行きました。

バスで途中大勢の人が乗り降りしました。ハリドワールでみんなが降りた後、一人で座っていたら、椅子に荷物が見えました。誰かの忘れ物だと思って、叫んで聞いてみましたが、誰も答えませんでした。なくなっただけで中身を見たら大金です。袋は汚かったのですが、中は新札の束が4つ、400万ルピーです。その後も、また人の乗り降りがあってデリーに着きました。皆が降りた後、お金と私が残ったはずですが、袋を見たらありません！ 叫んで警察に行って、大金をなくしたと叫びました。が、何も起きませんでした。

・これが私たちの人生です。皆が体験しています。生まれた時に何か持ってきましたか？ 生きている時に家族や家や車を持っていましたね。死ぬ時はどうしますか？ 警察に行きますか？(笑)

何も持って行けないし、私は体でもありません。

・家から持ってきた物は何もなし、持ち帰る物もありません。これが人生です。

これはジョークではありません。真面目な話です。

持っているから苦しむのです。何も持っていないことがわかれば、苦しみはありません。

人間は来ては去ります。私はただそこにいて、ただ存在して見ているだけです。

何も持たずに来て、何も持たずに行くのです。生きている時に何か来ても、執着せず、自分のものでないことがわかれば、不幸や問題はありません。

以上、みじめさや問題は勘違いから来ていることを見ました。

無知な人たちのための物語

・無知な人たちには空が青く見え、無いはずの水が見えます。目に見えるこの世が真実だと思い込みます。

・1つが複数になって、比較することが始まりました。私たちは常になにかと比較して生きています。

相対的に見えるということは無知が原因です。

ヴァシスタはラーマ王に言いました。ありとあらゆるものは究極的なただ1つのものからしか生まれていないのに、この世界があるように受け取っています。しかしそれは真実ではありません。この世界があると思っているのは幽霊の話のようなものです。

私たちは幽霊という概念を受け入れているので、その話を作ってしまったのです。

・賢者がしている話は、この創造された世界は究極の真理からできているということです。それ以外のものではありません。

・最初にスペースが作られ、風・火・水・土の順にでき、すべてが合わさってこの世のものができました。この理論は無知な人のためのものです。

・森に2組の人たちがいます。ひと組は暗闇でライオンを見る人たち、もう1組は石造のライオンを見る人たち。ライオンを見る無知の人たちには、本物か石造のライオンかの区別がつかえません。ライオンがいるというのは無知の人たち向けの話。ライオンがいなくても理解できないからです。光を持った人たち(神と共にいる人たち)には石のライオンだとわかるのです。

・この世は1つのものからできていると言うのは、それを知らない無知の人のために言っているのです。無知な人は勝手に名前や形があるものと思い込んで様々な質問をします。

・無知な人たちは『この世界はどうやって始まったのか？』と言って考え続けます。

無知な人たちは、『この世界の始まりは？』と考えるから空ができ、それが動いて風ができ、風が動いて火ができ、火が燃えて水ができ、水がたまって土ができたと勝手に考えています。

勝手に創造の世界を想像しています。でも本当は火も水もなく、この世界はないのです。

・例はたくさんあります。波はあるのではなく、海があるだけです。本があるのではなく、その真実は紙があるのです。賢者とそうでない人は、違った世界を見ているのです。

・賢者は、この世界が究極の1つの存在からできたとも言いません。そうでないとも言いません。そもそもそんな疑問が湧きません。

・とすると世界がないのが真実なら、疑問が出てきます。もし世界の始まりがないのなら、なぜこの世界の始まりについて、哲学や科学の分野でいろいろ探求するのでしょうか？

どうして本当のことを言わないのでしょうか？

本当のことを言っても受け入れないからです。

物語を受け入れることで、徐々に高みに上れるのです。

2階に上るには、ハシゴが必要なのですが、2階に上った後は、もうそのハシゴはいらないのです。

・南インドからの訪問者が、このシヴァナンダ・アシュラムに来ました。私(プレマナンダジ)は門のところで石垣づくりの作業をしていました。訪問者が、「プレマナンダジに会えますか？」と聞くので、「会えますよ、部屋で落ち着いて食事をすませてから講堂で待っていれば会えますよ。」と答えました。私は作業を終えて、手を洗って衣服も改め、講堂に出て行きました。「あなたがプレマナンダジですか?!」と訪問者は尋ねました。

すべては無知の人のための話です。いったん本人を知ると、私が牛の世話をしている、ちゃんと理解して間違えません。いろいろな話というのは無知の人のためのものです。

動物園の着ぐるみの話は(動物園で動物の着ぐるみを着るように雇われた人が、なんと、すべての動物が雇われた人間の着ぐるみだったことを知る例え)園長だけは着ぐるみを知っていました。同じものを見ても、見ているものは違ってきます。

・聖典も世界の始まりについて語っていますが、すべて物語は無知な人たちのものです。聖典も物語です。無知な人々が2階に上るためのハシゴなのです。

・なぜ光の速度とか、世界の始まりについて語るのか？

究極の真実は、光や闇を超えたところにあります。良いも悪いもない、それらを超えたところ、大きいも小さいもなく、あるのはただ究極の实在のみ。つまり神の存在、すべては神のみ、私もなくあなたもなく、神のみが存在します。

究極の真実

・なぜ唐辛子は辛いのか？ なぜ蜜は甘いのか？ なぜあなたは〇〇さんなの？

最初に両親が繰り返し、そう言ったからでしょう。

何かがあったとして、多くの人がそれを蜜だと言えば、それは蜜になる。名前・性質・活動は後でつけられたもの。言葉が後でつけられたのです。お茶と言わないで石と言うこともできます。甘いという呼び方、辛いという呼び方、最初に言った人の通りになります。

・火は燃えるという性質があります。創造主がその性質を与えました。最初に受け入れられた名前、性質がそうになっているだけの話です。単純です。

・創造者のみが質を作れます。名前は誰でも作れます。性質、自然の法則は神が作り、その性質や法則を使って、物は人間が作れます。

・(粘土をいじって)これは何ですか？ 星？ いいえ蝸です。ではこれは？ そう白鳥です。

クリエイターは1つの材料で、いろいろなものや形を作ります。おおもとはアイデアがあります。アイデアを投影したものが被創造物です。この白鳥はアイデアの投影物です。

・自分は人間ではなく、単にアイデアです。創造主が考えた通りになります。難しく考えないでください。すべては考えのプロセスにあります。あなたも私ありません。

・体験はすべてが虚構です。体験そのものはバランスが取れていますが、言葉にした途端、バランスが崩れて虚構になります。全部意味のないものです。

・真理を語るのには、お婆ちゃんが孫が寝つかないから語るのと同じで、意味はありません。人生は意味がなく、内面世界は意味があります。聖典も同じで、意味がありません。あなた方が寝つかないから、私が聖典の(意味のない)話をしているのです(寝ついて静かになれば、つまり瞑想すればよいのです)。波の話は、どうでもよくて、無知な人のための話です。

・ところであなたは本当に無知な人ですか？

内側に流れているものは無知ではないと思っていますが、表面的には自分の知っていることは一時的な知識であることを知っていますし、知らないこともたくさんあるのでバカです。

・正しいと間違いは時間のファクターです。

私が「アメリカの大統領は、オバマです」と言います。昨年暮れまでは正しかったのに、今はもう間違いです。時間とともに正誤が動きます。今日聖典で何を学ぼうと、明日になればそれは間違っています。

取りあえずは『それはそうだ』と情報として受け取って、最終的にはそれが間違いだと知って、それを捨てます。

最初はその意味のない話が、あなたを意味のある世界に導いてくれるのです。

・何が正しいのでしょうか？ それは、究極の沈黙・静けさが本物です。

それは体験・フィーリング・感覚です。ハートで感じ取るものです。それ以外のものは単なる情報です。情報が間違っていれば、あなたも間違えます。

・レスラーが戦います。一人が勝つてもう一人は負けます、で？…眠りにつきます。最終的には、皆が眠ります。すなわち静かになります。それが本当のあなたです。

だから早く寝た方がいいのです。つまり、瞑想です。それこそが本当の休みです。

ですから、聖典はたくさん話してから瞑想に導きます。たった1つの真理に導くためです。

いろいろな学びは、すべて相対的な世界でのこと

・手と足はつながっていて、互いに依存しています。

私が話して皆さんが聴く。聞き手がいるから私は話します。お互いに依存しています。お互い相対的につながっています。すべてのものはお互いに依存しています。世界中、宇宙中つながっています。私たちは相対的な世界にいます。ここから逃れるには、たった1つだけの世界に行く必要があるのです。この知識もいずれ手放します。

・ここは相対的世界ですから、あなたが知識を無視すると、知識もあなたを無視します。あなたが何かを無視すると、誰もが「あなたが無視しているかどうか」を無視します。

あなたが知識を気にすると、知識もあなたを気にします。あなたは何かを無視できません。

相対的な世界ですから、あなたは一人ではありません。あなたは宇宙とつながっています。

組み込まれているのです。これはコインの裏表と同じです。裏と表は分けられません。光を知りたかったら闇を無視できません。この世は相対的な世界ですから。

この世から逃れたかったら、昼も夜もないところ、光も闇もないところ、時間も空間もないところに自分を連れていくしかありません。

あなたは観客です。

観客がゲームを楽しみます。

この世は2人いないとゲームが成り立ちません。あなたは証人(witness)です。見ている人(seer)です。神が見ている人(seer)です。着ぐるみを脱いで内側を見ることです。内側の seer があなたです。

・ゲームの結末は、ゲームの最後までこないとどうなるのがわからず、ゲームに翻弄されます。つまり疑問や疑いを持ったままゲームを続けるしかないのです。ゲームが終わればすべてがわかります。クリケットのゲームが4日間、どちらが勝つかの疑問を持ちながら続きます。終わるまで結論はわかりません。

私も本当のことを話していないし、あなたも本当のことを聞いていません。

話がすべて終わって沈黙が来たとき、本当のことが来る

・話をすべてを聴いて、沈黙し、瞑想した時に、本当のことが感じられます。

・たくさん聖典を学ぶのは、そこを通って行かなければ、わからないからなのです。

究極の静けさ、サマーディに達するたった1つの目的のために、次回さらに深く入ります。

・最後に尋ねます。あなたの名前は？ 考えないで答えられるでしょうか？

考えないで行えるでしょうか？ すべては考えのプロセスにあります。この世界はすべてマインドが行っています

マインドが行っているこの世界から沈黙の世界に行き、沈黙を体験して、次回報告してください。

これが次回への宿題です。沈黙で何が起きたか、何を体験したかを持って来てください。

プレマナンダジのヨーガ・ヴァシスタ講話について

アシュラム研修—講話のまとめ (<http://shantiyogaclub.com/2015hiro.pdf>) の P11~P14 もお読みください。

